

授業改善推進プラン

【教科名：特別の教科 道徳】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に取り組む生徒がいる一方、考えることへの困難さや発言することへの恥ずかしさを持つ生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを持ち、周りとの意見を交わし合う姿勢を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> どんな考えも受け入れるあたたかい雰囲気作りを行い、ペア活動や班活動の機会を積極的に取り入れる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> クロムブックを利用することで、自分の考えを発信することができる。 他の意見を受け入れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の意見について受け入れると同時に、自己の考えが流されてしまう傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の意見を発表する前に個々の意見を書き出し、他の意見を聞いた上で比較や考えを深める時間を設ける。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を素直に発信することができる。 素直に他者の意見を聞き、自身の考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自身の発言が素直すぎて、周りのことを考えられないことがある。 ぶつかることの困難さから、自身の意見を言わないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な意見や事例に触れることで、個々の意見を広げていく。 他の気持ちを考えることを通して、自身の考えや行動を振り返る場面をもつ。

【教科名：特別活動】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> 先輩の姿を見ながら、四島体育大会や地区音楽会に主体的に参加することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級への所属意識をさらに持ち、協力して取り組もうという意識付け。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭等の行事を通して、失敗を恐れず、前向きに挑戦する大切さを伝える。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 先輩としての自覚をもち、何事にも積極的に取り組む生徒が多い。 行事を盛り上げたい気持ちで協力することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 面倒なことを人任せにし、個々のやりたいことを優先にする生徒がいる。自己の責任について自覚が希薄。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭や移動教室等、様々な場面で各係のリーダーを設定し、小さな場面からリーダーシップの育成を図る。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 行事のリーダー等を務めることで、責任感を育んだ。 他の生徒を思いやり、行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個の感情に流されてしまうことがあり、全体で協力して取り組む場面で課題を感じる。 自身の中で有用性を感じないと取り組めないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級や班での活動を通じて、仲間と協力する重要性や魅力を感じさせる。 高校進学先の進路をイメージさせ、今が自身の将来へ繋がる意識を育む。

【教科名：総合的な学習の時間】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> 各々が設定した式根島遠足に関するテーマについて、事前・事後学習に主体的に取り組めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を伝えたり、友達の意見を聴いたりする力の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路学習を通して、職業観やまとめた内容を発信する力を育成していく。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 個人で職場体験を実施し、職業観について学んだ。また、概要や感想をスライドでまとめ、発表した。 移動教室の事前学習で、調べ学習や計画を班で協力して行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の将来について考えられていない。目標や夢がなく、ただ漠然と進学を望んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 上級学校調べや移動教室、学習面談等を通して、将来に対する視野を広げ、自己の可能性を伸ばし、夢を拓くための情報提供や整理をさせていく。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 進路学習等を通して、自身の進路や将来を考えることができた。 修学旅行に向け、班で協力して行程を考え、計画を立てることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路について重要さを感じるものの、実際の行動に結び付いていない。 感情に任せた発言が出てしまうことがある。 後先を考えすぎる、または諦めから自身の考えていることを伝えられないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 目の前のことに丁寧に取り組んでいけるよう、日常生活の中で指導を行う。 自身の考えや感情を考える場面を設定し、自分自身をより深く知るとともに言葉にできるよう指導する。